

アメリカ・セントポール市との姉妹都市交流

日本初の姉妹都市提携から今年で 60 周年

全国では、860以上の自治体が世界のさまざまな都市と姉妹（友好）都市提携などの交流を行っています。

姉妹都市提携の日本における第1号は、長

崎市とアメリカ・セントポール市との縁組みで、昭和30年12月7日に行われました。

今年は両市の姉妹都市提携60周年にあたり、市ではさまざまな行事を行っています。

●セントポール市はこんな街

アメリカ合衆国ミネソタ州の州都。面積約145.5平方キロメートル。人口約29万人。製造、通信、金融、保険、観光、農業などが盛んで、隣接するミネアポリス市とは、ミシシッピ川をはさんで双子のように発展してきたことから「ツインシティ（双子都市）」と呼ばれています。

15,000にも及ぶ数多くの湖がある緑豊かな街で、雨は少なく寒暖の差が大きい大陸性気候です。



●提携の経緯

ニューヨークの日本国連協会代表が、原爆被災から復興し平和都市への道を歩んでいた長崎市とセントポール市との提携を仲介しました。その後、国連事務局が両市に勧誘状を出し、日本初の姉妹都市提携が実現しました。

●主な交流の経過

昭和50年から、長崎ロータリークラブと市の共催で、高校生を相互に派遣・受入しています。

平成4年には、セントポール市から平和モニュメント「地球星座」が寄贈され、現在、平和公園に設置しています。



セントポール市民訪問団が来崎

日本舞踊グループ「3世4世会」の方々を中心としたセントポール市民訪問団19人が、6月に長崎を訪れました。

市民訪問団の皆さんは、茶道の作法を体験したほか、桜町小学校6年生や子どもゆめ体験参加者の中学生と一緒に「長崎ぶらぶら節」を踊るなど、長崎市民との交流を深めました。



国際課 ☎829・1113

長崎市親善訪問団がセントポール市を訪問

8月下旬に、田上市長や毎熊市議会議長をはじめとする市議会議員団、姉妹都市委員会などのセントポール市にゆかりのある方々がセントポール市を公式訪問し、クリス・コールマン市長を表敬訪問するとともに、記念行事に参加しました。

一部の記念行事には、文化団体の方々や子どもゆめ体験で派遣された16人の中学生など合計約60人の市民が長崎から参加しました。

8月22日には、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が開催する「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」のオープニングセレモニーに出席しました。ここでは、吉田勝二さんの被爆体験を題材とした紙芝居を、中学生が英語でセントポール市民に伝えました。

8月23日には、セントポール市のコモ公園で開催されたミネソタ州最大の日本祭り「ランタンライティングフェスティバル」に参加しました。長崎検番の皆さんが伝統芸能を披露したり、中学生たちが「長崎ぶらぶら節」を踊ったりして、セントポール市民との親睦を深めました。



原爆展ではコールマン市長（左から2人目）とテープカット



英語で堂々と発表しました



セントポール市民の皆さんとも一緒に「長崎ぶらぶら節」



中学生はホームステイを通して文化や習慣を肌で感じました

10月にもセントポール市との交流行事がありますよ！

姉妹都市提携60周年記念事業として、長崎市周辺の高校生が撮影した長崎の写真とセントポール市の高校生が撮影したセントポール市の写真の展示を行います。

【期 日】10月14日(水)～18日(日)

【場 所】県立美術館県民ギャラリー

【入場料】無料

長崎市の姉妹（友好）都市・市民友好都市

長崎市は、今回訪問したセントポール市をはじめとして、歴史的なつながりや交流をもとに、6つの都市と姉妹（友好）都市、4つの都市と市民友好都市の提携を行っています。

今後も、教育、文化、平和など様々な分野で市民の皆さんが主体となった国際交流ができる環境づくりをしていきたいと考えています。

姉妹（友好）都市	市民友好都市
国際的な制度によるもので、友好親善や文化交流などを目的として、議会の議決を経て提携する都市	長崎市独自の制度によるもので、市民や民間交流団体が主体となって、自由、気軽に交流を行う都市
①セントポール市（アメリカ）	①アバディーン市（イギリス）
②サントス市（ブラジル）	②中山市（中国）
③ポルト市（ポルトガル）	③ライデン市（オランダ）
④ヴォスロール村（フランス）	④ヴェルツブルク市（ドイツ）
⑤ミデルブルフ市（オランダ）	
⑥福州市（中国）	